

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 17 年 8 月 25 日 (2005.8.25)

【公表番号】特表 2002-527470 (P2002-527470A)

【公表日】平成 14 年 8 月 27 日 (2002.8.27)

【出願番号】特願 2000-576834 (P2000-576834)

【国際特許分類第 7 版】

A 6 1 K 31/18

A 6 1 K 31/357

A 6 1 P 25/32

C 0 7 D 493/14

【F I】

A 6 1 K 31/18

A 6 1 K 31/357

A 6 1 P 25/32

C 0 7 D 493/14

【手続補正書】

【提出日】平成 15 年 12 月 4 日 (2003.12.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

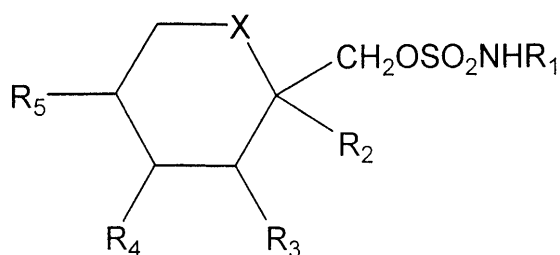
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

式 I

【化 1】



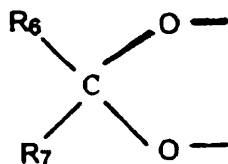
[式中、

X は C H₂ 又は酸素であり、

R₁ は水素又はアルキルであり、そして

R₂、R₃、R₄ 及び R₅ は独立して水素又は低級アルキルであり、そして、X が C H₂ である場合は、R₄ 及び R₅ は一緒になってベンゼン環を形成するアルケン基であり、そして X が酸素である場合は、R₂ 及び R₃ 及び / 又は R₄ 及び R₅ は一緒になって、次の式 (II)

【化 2】



(ここで、

R_6 及び R_7 は同一でも異なってもよく、水素、低級アルキルであるか又はアルキルであって、一緒になってシクロペンチル又はシクロヘキシル環を形成する) のメチレンジオキシ基であることができる]

の化合物を有効成分とするアルコール依存症、中毒及び乱用を処置するための製剤。

【請求項 2】

式 I の化合物がトピラメートである請求項 1 記載の製剤。

【請求項 3】

治療的な有効量として、約 32 ないし 512 mg の有効成分を投与するための請求項 1 記載の製剤。

【請求項 4】

治療的な有効量として、約 16 ないし 128 mg の有効成分を投与するための請求項 1 記載の製剤。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

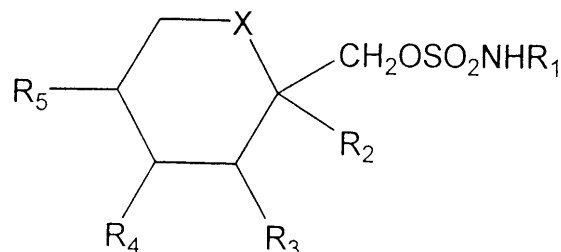
【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

【化 4】



【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

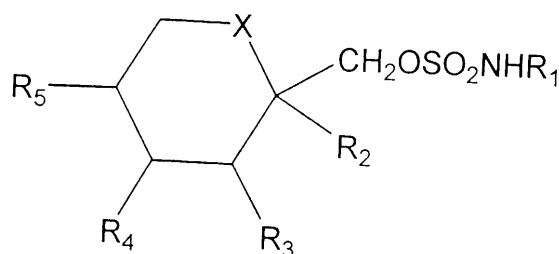
【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

【化 5】



【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

〔式中、

XはCH₂又は酸素であり、R₁は水素又はアルキルであり、そして

R₂、R₃、R₄及びR₅は独立して、水素又は低級アルキルであり、そしてXがCH₂である場合は、R₄及びR₅が一緒になってベンゼン環を形成するアルケン基であることができ、そしてXが酸素である場合は、R₂及びR₃及び／又はR₄及びR₅が一緒に、次の式(II)

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

【化7】

